

旧広島陸軍被服支廠に 関する資料を 探しています！



(広島県立文書館所蔵 絵葉書「広島陸軍被服支廠」大正初期 (長船友則氏収集資料200407-1205))

広島県では、旧広島陸軍被服支廠について、重要文化財指定に向けて、過去の写真や絵葉書など資料の収集に取り組んでいます。

そこで、御自宅などにある旧広島陸軍被服支廠に係る資料を、ぜひ、御提供ください。

資料収集の概要

対象資料

旧広島陸軍被服支廠に関連する写真や絵葉書、その他印刷物
(書籍、雑誌、公文書、契約資料など)

募集期間

令和4年3月31日まで (以降も随時受付は行います)

資料収集の方法

まずは、裏面に記載の問い合わせ先 (広島県総務局経営企画チーム) まで御連絡ください。

資料の内容などを伺い、御希望も踏まえて取扱いについて、調整させていただきます。

※ 問い合わせ先は裏面に記載しています。

旧広島陸軍被服支廠（現存する倉庫）の主な来歴

- 1913年（大正2年）
 - ・竣工
 - ・以後、第二次世界大戦終戦まで、旧広島陸軍被服支廠の倉庫として使用される。
- 1945年（昭和20年）
 - ・原子爆弾により被災、被爆者の臨時救護所となる。
- 1946年（昭和21年）
 - ・広島県立広島第一高等女学校（現広島皆実高校）の分散授業場として使用（～1947年（昭和22年））
 - ・広島県繊維製品統制株式会社（後に広島県繊維製品商業協同組合に名称変更）などの繊維関係の団体が使用（～1960年（昭和35年）ごろ）
- 1947年（昭和22年）
 - ・広島高等師範学校（1949年から広島大学教育学部）の校舎として使用（～1953年（昭和28年））
- 1953年（昭和28年）
 - ・県立広島工業高校の校舎として使用（～1956年（昭和31年））
- 1956年（昭和31年）
 - ・日本通運株式会社の倉庫として使用（～1995年（平成7年））
- 1965年（昭和40年）
 - ・広島大学の学生寮（薫風寮）として使用（～1995年（平成7年））



（広島県立文書館所蔵 『陸軍被服廠要覧』 [長船友則氏収集資料「宇品線関係資料1」（200407-3335）所収] [左] 広島支廠正面 [右] 皮革のなめし作業）

問い合わせ先

広島県総務局経営企画チーム 被服支廠担当
〒730-8511 広島県広島市中区基町10-52
TEL:082-513-2346 Mail:soukeiei@pref.hiroshima.lg.jp